

青森県外来医療計画素案（たたき台）に対する意見等

資料5-3

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
1	私的な診療所・病院の医師はもちろん、公的病院の勤務医の行動変容を促して、医師の偏在是正につなげていくためには？ →各々の医師に対して、相応の金銭的なインセンティブが必要になると考える。外来医療計画を作成するにあたり、人の流れを促すのであれば、それなりの予算も必要になると考える。無償では、人は動かないと思う。	計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。 (その他)
2	○素案（たたき台）P 1 2 （2）施策の方向 3 行目 各医療機関が、外来医療提供体制の改善、確保に向けて「自主的に取り組む」ということは、期待できないと思う。	計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。 (その他)
3	○素案（たたき台）P 1 4 1 医療機器の効率的な活用の考え方 重要なことは、共同利用というより機器を使った画像診断・治療であり、医療機関の連携のなかに含まれる事柄と思う。	計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。 (その他)
4	○素案（たたき台）P 3 4 ①夜間・休日における初期救急医療 記載されている五所川原市内の休日在宅当番医制度とは別に、西北五地区の開業医含めた診療所の一部が、日曜日の午前中に、中核病院（つがる総合病院）の救急外来に出張して、一部のウォークイン患者さんの診療をしている。	御意見を踏まえ、記述を追加します。 (文言修正等) ○素案P 3 9 3 行目 医師会の協力により、五所川原市で在宅当番医制度等により～

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
5	<p>○素案（たたき台）P 3 1 人口の推計</p> <p>「総人口は、平成27年（2015年）から令和7年（2025年）10年間で15.1万人減少することが見込まれています。」の文面ですが、2015年～2019年までの減少は、既に数字が出ていると思います。</p> <p>令和2年中に開催する計画案なので、令和1年（2019）から令和10年（2028）10年間で○万人減少することが見込まれています。の方が良いのではと思います。</p>	<p>御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p>○素案P 3 3行目</p> <p>総人口は、<u>令和2年（2020年）から令和12年（2030年）</u>の10年間で16.0万人減少することが見込まれています。</p>
6	<p>○素案（たたき台）P 5 ①外来患者延数（人口10万対）</p> <p>説明文章中で「県平均は」とありますが、いつの年の平均なのかが不明です。○年～○年の平均など具体的な説明が欠けていると思います。</p>	<p>「県平均」は、図表3-1-1の資料に記載してあります、平成29年度分の診療分データの月平均になります。</p> <p>（記述済）</p>
7	<p>医師会（県医師会、各郡市医師会）と合同で進めないと、ただの計画倒れになってしまう気がします。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>
8	<p>全体的によくまとまっている素案と思いますが、一般～老人医療に関しての内容と思われます。</p> <p>産科・小児科・当施設のような小児リハ科のような母子保健成育医療についてはさらに厳しい現状と思われますが、本素案ではそこまで分析されていません。計画には専門分野ごとの分析も影響するものと思われますので、御検討下さい。</p>	<p>外来医療機能の偏在の項目の1つとして、診療科別の医師の偏在の課題があり、現在、厚生労働省において診療行為と診療科の分類に関する研究等が行われているところであり、その結果を参考にして、専門分野ごとの分析等、検討する予定としております。</p> <p>（その他）</p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
9	<p>○素案（たたき台）P 1 3 （3）目標設定</p> <p>（3）目標設定は「救急出動件数に占める軽症者の割合」の減少と「訪問診療を実施している診療所・病院数」の現状維持 の2つのみか？</p> <p>「現状・課題」、「施策の方向」から導き出される目標設定が唐突に思われます。</p>	<p>本計画は、青森県保健医療計画と整合性を取る観点から、青森県保健医療計画（5 疾病 5 事業及び在宅医療）で設定している数値目標の中から、本計画の対象となる数値目標を抜粋のうえ設定しています。御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p>○素案 P 1 7 （3）目標設定</p> <p><u>○ 青森県保健医療計画（5 疾病 5 事業及び在宅医療）で設定している数値目標の中から、本計画の対象となる数値目標を抜粋のうえ設定します。</u></p>
10	<p>○素案（たたき台）P 1 2 （1）現状・課題 2 行目</p> <p>全国平均を大きく下回っている二次保健医療圏として、西北五、上十三、下北地域が挙げられているが、八戸地域は 74.5（303位）と上十三の 71.4（314位）とあまり差がないと思われるが、「大きく下回っている」とする判断基準をご教授願います。</p>	<p>御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p>○素案 P 1 6 4 行目</p> <p>～特に、<u>八戸、西北五、上十三、下北地域は全国比較で下位に位置しています。</u></p>
11	<p>○素案（たたき台）P 1 2 （1）現状・課題 9 行目</p> <p>救急出動件数に関する統計データの掲載は必要ないのでしょうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p>○素案 P 9</p> <p><u>⑥ 救急自動車による救急出動件数等</u></p> <p><u>救急自動車内による救急出動件数及び搬送人員数は、やや増加傾向にあります。また、搬送人員は、年齢区別では高齢者、傷病程度別では軽症者の占める割合が高くなっています。</u></p> <p><u>図表を追加（3-1-4、3-1-5、3-1-6）</u></p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
12	○素案（たたき台）P 1 2 （1）現状・課題 1 4 行目 医療資源の多くが市部に集中していることの根拠となるデータの掲載は必要ないのでしょうか。	御意見を踏まえ、記述を追加します。 （文言修正等） ○素案 P 5、6、 <u>図表を追加（2-2-3、2-2-4）</u> ○素案 P 1 6 （1）現状・課題 ～医療資源の多くは、市部の、 <u>特に旧 3 市に集中して</u> います。
13	○素案（たたき台）P 2 1 （2）稼働状況 4、9 行目 稼働件数が上回っているのが病院か診療所かの別を記載したほうがよいのではないのでしょうか。	医療機器の稼働状況については、病院の医療機器と診療所の医療機器ごとに記載しています。 （記述済）
14	○素案（たたき台）P 2 8 ①夜間・休日における初期救急医療 2 行目 参加医師が高齢化していることとした判断基準や根拠をお示し願います。	第 3 章 外来医療の提供体制の「一般診療所に従事する医師の状況」に記載しています。 （記述済）
15	○素案（たたき台）P 2 8 図表 5 - 2 - 3 主たる診療科ごとの一般診療所医師数について、青森県、全国の数値と比較できるようにした方がよいのではないか。	御意見を踏まえ、記述を追加します。 （文言修正等） ○素案 P 2 9 <u>図表追加（5-1-4）</u>
16	○素案（たたき台）P 2 8 図表 5 - 2 - 4 外来患者延数について、診療科ごとの数値（二次保健医療圏、青森県及び全国）を示した方がよいのではないか。	国からの提供データでは、診療科ごとの外来患者延数について示されていないことから、数値の把握ができません。（反映困難）

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
17	<p>○素案（たたき台）P 14、P 29</p> <p>医療機器の共同利用方針が示されているが、当院が所有する機器の共同利用はそぐわないと思われる。</p> <p>地域の二次医療をとりまとめる病院や専門的疾患に特化した医療機関が、その地域の開業医やサテライト的な役割を担う医療機関と共同利用を行うことには問題ないと思えるが、三次医療を担う医療機関においてはその疾患の診断・治療を含めた形で現に紹介されてきており、さらに撮影等の目的のみで患者を受け入れるのは本来の病院機能とキャパシティの両面から難しいものと思える。</p>	<p>医療機器の共同利用について、素案（たたき台）では、「医療機器の貸借だけでなく、画像診断が必要な患者を、医療機器を有する医療機関に対して患者情報とともに紹介する場合を含む」こととしております。</p> <p>（その他）</p>
18	<p>・病院における外来医療と、診療所における外来医療を同一に検討することは、提供する医療の内容や抱える問題は異なるところがあることから、今後も検討が必要であると思えるが、外来医療の視点から策定する本計画は、県民の医療や生活にとって大きな意味を持つものと考えている。</p> <p>・本計画は計画作成趣旨にあるとおり、医師の開業の自由を損なうことなく、医師が開業を考える際の、地域の外来医療に関わる医療需要、医療資源を可視化した情報をわかりやすく伝える計画としていただきたい。</p> <p>・本計画素案の青森地域の施策の方向「外来医療に係る医療提供体制を確保するため、各種取組を進めていきます。」については、青森市総合計画の施策の方向性「保健・医療の充実」「（中略）必要なときに安心して適切な医療を受けることができる環境づくりを進めます。」と整合が図られているものと捉えている。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>
19	<p>○素案（たたき台）P 6 ③時間外等外来患者延数</p> <p>時間外等外来患者延数については、一般診療所における利用の状況を情報提供しているものと思えるが、時間外等外来患者の適切な受診行動が関係するものであることから、このことについて、今後対応を考慮してほしい。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
20	<p>○素案（たたき台）P 1 2 （1）現状・課題 1 4 行目</p> <p>・市部に集中しており、医療資源が十分でない地域 →</p> <p>・市部に集中しています。また、医療資源が十分でない地域</p> <p>（市部においての医療資源は「外来医療多数区域」に該当しないことから過大に集中している状況ではない。文章が、資源が市部に集中していることにより、資源が十分でない地域の医療が困難と捉えられるため、現状と課題の事実を記載する表記に修正。）</p>	<p>御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p>○素案P 1 6 （1）現状・課題</p> <p>～市部の、特に旧3市に集中しています。また、医療資源が十分でない地域～</p>
21	<p>○素案（たたき台）P 1 5～2 0 図表4－2－2ほか</p> <p>左頁の各図表（4-2-2～4-2-7）については、1 4 頁 ※外来医療計画において「対象となる医療機器」に記載している表記・順番と整合を図ってほしい。また、「対象となる医療機器」に記載されていないダ・ヴィンチ等の図表は、後側とすることで、わかりやすくなると思う。</p>	<p>御意見を踏まえ、記述を追加します。</p> <p>（文言修正等）</p> <p><u>図表の順番変更（4-2-2～4-2-7）</u></p>
22	<p>外来医療の定義があった方が良いのではないか。（在宅医療も外来医療に含まれる？）</p>	<p>外来医療には、在宅医療（往診・訪問診療）も含まれています。</p> <p>（記述済）</p>
23	<p>○素案（たたき台）P 1 3 （2）施策の方向 2 行目</p> <p>「へき地医療対策を推進します。」について、これだけでは一般県民はわからないので、具体的に記述できないか。</p>	<p>具体的な施策については、本計画と整合性をとる必要がある青森県保健医療計画（へき地医療対策）において推進していくこととしています。</p> <p>（その他）</p>
24	<p>○素案（たたき台）P 1 3 （2）施策の方向 4 行目</p> <p>「地域医療介護総合確保基金の活用により」は不要ではないか？</p> <p>（他の項目について、「国庫補助の活用により」など、財源は記載していない。）</p>	<p>国ガイドラインを参考にして、当該基金の活用について記載しています。</p> <p>（反映困難）</p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
25	<p>○素案（たたき台）P 1 3（3）目標設定</p> <p>現状・課題において、「外来医療を担う医療機関の確保が必要」、「地域偏在がある」として いるので、目標項目に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「外来医療を担う医療機関数（人口10万対）」 ・「圏域間の偏在の度合い」 <p>などの目標設定が必要ではないか。</p>	<p>本計画は、青森県保健医療計画と整合性を取る観点から、青森県保健医療計画（5疾病5事業及び在宅医療）で設定している数値目標の中から、本計画の対象となる数値目標を抜粋のうえ設定しています。</p> <p>（反映困難）</p>
26	<p>○素案（たたき台）P 1 3（3）目標設定</p> <p>県が青森県保健医療計画の一部として平成28年3月に策定した青森県地域医療構想では、高度急性期から慢性期までの平成37年の必要病床数を平成26年と比較し、3,486床少なくしようとしている。</p> <p>また、患者すべてを医療施設が担うのではなく、在宅医療を充実させ対応することを前提としている。</p> <p>一方で、青森県外来医療計画素案（たたき台）の第3章、3、（3）目標の設定の表中において、訪問診療を実施している診療所・病院数の目標値が「現状維持」とあるが、青森県地域医療構想を踏まえれば、訪問診療を受けるものは今後増加する見込みである。</p> <p>外来医療体制を確保するため、訪問診療を実施する施設は現状維持のままで、訪問する医療従事者を増やすなどして目標を達成する考えなのか、取組方法が不明である。</p> <p>以上から、目標値は「現状維持」ではなく「増加」とすることで整合性が取れると思われる。</p>	<p>本計画は、青森県保健医療計画と整合性を取る観点から、青森県保健医療計画（5疾病5事業及び在宅医療）で設定している数値目標の中から、本計画の対象となる数値目標を抜粋のうえ設定しています。</p> <p>（反映困難）</p>
27	<p>この外来計画たたき台は包括的過ぎて何が本当に重要なのがよくわからない。よってこのたたき台から何かを解決する案を引き出すのはむづかしい。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
28	<p>高齢化で多病、易重症化時代の外来診療は、今よりももっと簡便に経過観察を目的とした入院が出来るシステムをつくることがおそらく重要になる。よって病診、および医療介護の連携強化がカギになるかと思われるが、そのことについて、県はどうおもわれるか。</p>	<p>県でも、病診、および医療介護の連携強化は重要と考えており、施策の方向に記載しています。 （記述済）</p>
29	<p>勤務医の老朽化と、多病でおそらく増える救急医療については何か策を講じなくてはならないでしょう。増えるはずの青森ぴちぴち若手医師はいったいどこへいってしまうのか。</p>	<p>医師の育成と県内定着、救急医療をはじめとする外来医療の提供体制の確保の取組について、施策の方向で記載しています。 （記述済）</p>
30	<p>外来医療提供体制の課題を解決するためには、増加、多様化する在宅医療ニーズへの適切な対応が求められると考えることから、次のことについて盛り込むことが必要と考える。</p> <p>（１）訪問歯科診療や院外薬局の訪問指導の地域別の状況</p> <p>（２）認定看護師及び特定行為研修を修了した看護師の確保</p> <p>（３）県内全域をカバーし、かつ必要に応じた訪問看護の提供体制の構築</p> <p>特に地域の中核病院に併設した訪問看護ステーションの推進及び現行のステーションの支援。さらに訪問看護師の特定講師研修受講のための体制整備など。</p>	<p>御意見を参考に、青森県保健医療計画（在宅医療対策）の取組の中で検討していきます。 （その他）</p>
31	<p>○素案（たたき台）P 1 2 （２）施策の方向 ６行目</p> <p>（１）在宅医療を担う医療従事者のうち、在宅医療を日常の中で支える中心になるのは看護職であることから、訪問看護を「介護」と一括りとせず、訪問看護の役割や期待については明記していただきたい。</p> <p>（２）また、在宅医療提供体制の整備とあるが、特に検討してほしいのは、在宅医療も24時間体制を目指せないか。一人の医師では無理であることは明らかなことから、更に在宅医療機関同士あるいは病院との連携強化をすすめる施策を期待したい。現状として、夜間や休日は救急当番病院への搬送が第一選択になっているような感じがある。</p>	<p>御意見を参考に、青森県保健医療計画（在宅医療対策）の取組の中で検討していきます。 （その他）</p>

No.	意見の内容（原文のまま）	意見に対する県の考え方
32	<p>○素案（たたき台）P 1 2 （2）施策の方向 1 1 行目</p> <p>（1）上手に医療機関にかかることができるよう、普及・啓発を行っていくとあるが、医療者もかかりつけ機能を、地域の人たちにアピールすることも有効と思う。</p> <p>（2）県民特に高齢者への普及啓発として、救急車の利用などは平常時の保健事業（介護予防事業含む）の中で行う必要があり、ひいては地域づくりにつながるものとする。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>
33	<p>○素案（たたき台）P 1 3 （3）目標設定</p> <p>目標設定の目標値を具体的数字で示すことは難しいのか。訪問診療を実施している施設数は現状維持ということだが、現状の実態はどうなのか。現在、訪問診療している施設間でも対応件数に偏りはないのか。特定の医療機関に偏っていないだろうか。そのような数字も示した中で、入院医療から在宅医療へのシフトがよりスムーズにいくような対応施設数を目標にしてはどうか。</p>	<p>本計画は、青森県保健医療計画と整合性を取る観点から、青森県保健医療計画（5 疾病 5 事業及び在宅医療）で設定している数値目標の中から、本計画の対象となる数値目標を抜粋のうえ設定しています。</p> <p>（反映困難）</p>
34	<p>がん死亡率の減少が課題の青森県において、がん検診で要精検となった場合の受け皿の数（外来医療を提供する施設数や専門医数）や地域偏在を定量的に把握・分析することも必要と考える。</p>	<p>計画の推進にあたり、参考とさせていただきます。</p> <p>（その他）</p>